

特定非営利活動法人国際社会人剣道クラブ関東地区クラブ会報

INTERNATIONAL GOODWILL

KENDO CLUB

交 剣 知 愛

会長 川瀬 能男

事務局 幹事長 小川 徹

第571(2021・令和3年1月号)

IGKC ホームページアドレス

<http://www.-igkc.or.jp>

【会長挨拶】

寒中お見舞い申し上げます。

厳しい寒さが続いています、会員の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、我々の日常生活及び剣道の活動に大きな影響を及ぼしました。7月から12月まで月例会を実施しましたが、幸い当クラブ会員には罹患者は発生せず安堵しております。

新年早々政府は再び首都圏に緊急事態宣言を発出し、これに従い1月月例会を中止した次第です。今年はコロナが1日でも早く終息し、落ち着いた生活が取戻せることを願ってやみません。皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げます。

【2021年度国際社会人剣道クラブ行事予定等】

本部からの通知は次のとおりです。

1) 理事会及び通常総会

5月3日(月)京都市(ホテルオオクラ京都)

2) 全国例会

11月6日(土)～11月7日(日)仙台市(本山製作所青葉体育館)

3) 海外交流大会

① 第34回国際 OPEN 韓国社会人剣道大会

6月26日(土)～6月27日(日)ソウル市(オリンピックハンドボール試合場)

② 高雄国際都市剣道親善交流大会の開催は困難

③ ヨーロッパ各大会は開催計画立案不能

【海外の剣道の状況】

1) 韓 国

対人稽古は禁止。ソウル市内の個人道場でも稽古はできない。

2) 台 湾

面マスク等は付けないで通常の稽古が可能。

3) ヨーロッパ(ウィーン、クロアチア、アルメニア)

剣道の稽古不能

【事務局からのお知らせ】

1) 2021年度月例会予定

令和3年1月20日現在の予定は次のとおりです。

月	場所	時刻
3月21日(日)	新宿スポーツセンター第2武道場	13:00～16:00
4月	未定	
5月23日(日)	新宿スポーツセンター第2武道場	13:00～16:00
6月	未定	
7月11日(日)	新宿スポーツセンター第2武道場	13:00～16:00
8月29日(日)	新宿スポーツセンター第2武道場	13:00～16:00
9月	未定	
10月	未定	
11月	未定	
12月12日(日)	新宿スポーツセンター第2武道場	13:00～16:00
1月	未定	
2月13日(日)	新宿スポーツセンター第2武道場	13:00～16:00

2) 会費納入のお願い

2020年度年会費未納の方は納入をお願いします。

なお、振込手数料は会員各自にてご負担願います。

振込銀行：ゆうちょ銀行

口座名：コクサイシャカイジンケンドウクラブカントウチククラブ

3) 会員名簿記載内容の確認と連絡

本部から各会員あてに送付された令和2年5月31日現在の名簿記載内容をご確認のうえ、変更があった場合は、事務局あてに連絡ください。

なお、すでに連絡済の方は再度連絡の必要はありません。

交剣知愛

今月から6回にわたり、安江正紀教士8段の「パキスタンにおける剣道事情」を連載します。次ページからどうぞご覧ください。

「パキスタンにおける剣道事情 ～ アザーンの街の侍達」

国際社会人剣道クラブの皆様。たいへんご無沙汰をしております。安江でございます。

この度、3年間のパキスタン勤務を終えて帰国いたしました。

皆様方との稽古を楽しみにして帰国しましたが、あとしばらくの辛抱が必要ですね。

さて、この度、私のパキスタンでの生活等についての手記をお届けする機会を頂きました。本当に光栄なことと衷心より深く感謝致しております。

今回を含めて6回の予定をしておりますので、何卒、お付き合いをお願いいたします。

1 自己紹介

最初に簡単に自己紹介させていただきます。



私は、石川県出身の警察官で今年60歳の還暦を迎えます。小学校2年生から剣道をはじめ、とても多くの先生方、先輩、同僚等に導かれてここまで参りました。

この中でも、今、自分が剣道を楽しむことができているとても大きな転機が、現会長の川瀬能男先生との出会いでした。

当時の私は、高校、大学、警察特練員としての毎日の稽古に疲れ果て、「もう剣道はやめた。楽しい人生をやり直そう」と思い、ゴルフ等の趣味や家族での娯楽にのめりこんでおりました。そんなあるとき、友人に誘われ、しぶしぶ訪れた稽古会で川瀬先生と初めてお会いしたのです。

稽古より稽古後の懇親会（第二道場）目的の私は、ちゃちゃっと稽古を終え、懇親会の席上で、川瀬先生に対し、調子に乗って「先生。私はもう一生分の稽古をしました」と言ってしまったのです。

この時の先生の厳しい顔を今もはっきりと覚えております。「君は断

じて一生分の稽古をしていない。やらされていた剣道から逃げているだけだ。我々一般社会人の剣道家が勤務の後に稽古場を探してわずかな時間を積み重ねている苦勞を君は知らない」と、とても厳しいご指導を頂きました。

この時に剣道修行者としての自分は生まれ変わりました。目から鱗が何枚もボロボロと落ち、「やらされる剣道」から「求める剣道」の正道に引き戻された様な思いで感謝の涙が溢れました。この貴重な出会いのお陰で、今の自分があると思っております。

剣道を続けて本当に良かったと思っております。

このご縁におすがりし、本剣道クラブの末席にお加え頂いた次第です。

2 パキスタンの侍達

この手記は、パキスタンで知り合った多くの侍達とのご縁を軸として進めさせていただきます。今回は目次も兼ねて魅力あふれる侍達を簡単に紹介させていただきます。

① 「商業都市カラチの大和侍」

～ 伊藤忠の久林先生と JETRO の久木先生。日本文化祭演武の大成功。

② 「パキスタンの忍者集団」

～ 忍者の首領バティさんと 800 人の弟子達。イスラマバード剣道連盟の立上げ。

③ 「イスラマバードの学生達は侍大好き」

～ 日本文化紹介で大学、高校等への出張授業。大反響で翌日新聞各紙で大報道。

④ 「日本人より日本人らしいオランダ人侍、フランス人侍」

～ オランダ大使館のアレックス駐在武官。フランス大使館のエマニュエル書記官

⑤ 「日本国大使館剣道クラブの侍達」

～ 木刀稽古の功績。興味・関心の結実。日本文化継承としての剣道修行。



令和3年1月24日発行